

## これまでの京都市

“京都市と自転車の相性の良さ” と “市が取り組んで来た自転車施策”

### 京都市 と 自転車

京都市は平坦な盆地であったり碁盤の目のような街の地形であることから、自転車との相性が非常に良い街とされています。

市内の自転車保有台数は約92万台と推計され、移動の交通手段に自転車を利用する割合は全体の約20%であり、全国的にも非常に高い割合となっています。

これを受け、京都市はこれまでにさまざまな自転車施策を推進してきました。

例として

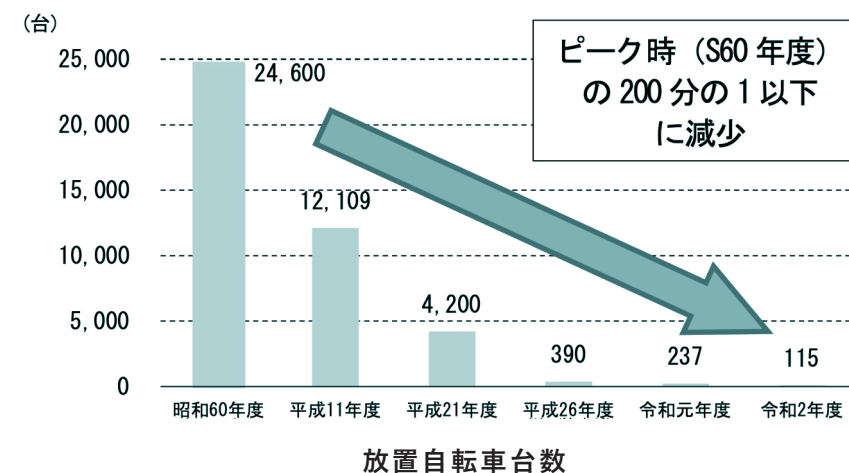
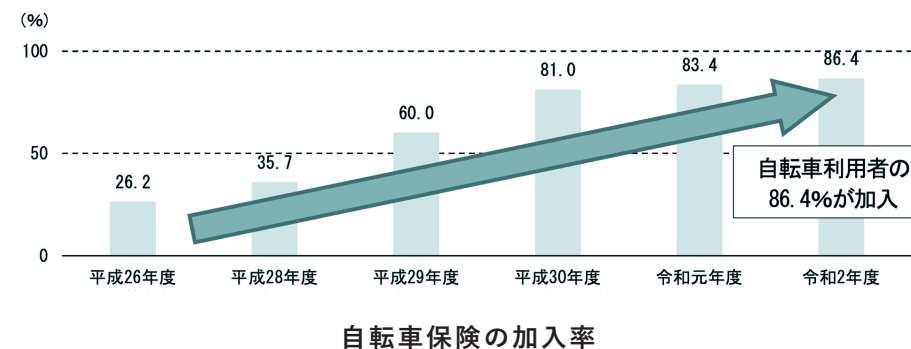
- ・自転車の安全利用について知る・学ぶ機会の提供
- ・一般の自転車利用者の自転車保険の加入の義務化
- ・放置自転車の防止啓発、撤去

などが挙げられます。

このように、現在京都市は

## 「世界トップレベルの自転車共存都市」

を理想社会として掲げています。



出典：内閣府、国土交通省、京都市

## 利用者が見る現状

“市民の抱える不満点”と“理想と現実のギャップ”

私たち  
と  
自転車

一方で京都市民を対象に自転車に関するアンケートを行ったところ、

50%の人が自転車に乗っていて不満点があると答えました。

不満点については、「欲しい場所に駐輪場が無い」、「見つけられても満車で止められない」などが挙げられました。

更には今まで推進してきた京都市の自転車条例について何も知らないという人が88%を占めていました。

そして市は2015年に行った施策にて四条通や中心街を自転車の走行、もしくは乗り入りを禁止しています。この事については自転車条例について知らない人でも右記Q6でデメリットとして挙げている人が複数いました。

また交通のインフラ整備については車道の脇に自転車記号をペイントしただけの「自転車走行推奨帯」の導入しか示されておりません。

放置自転車に関する条例についても、対象範囲や基準が厳しすぎるという市民の苦情や、今年10月に2,300円の撤去保管料を3,500円に値上げするという条例改正案を2月の議会で提案したという動きなどで時折注目されていました。

上記の通り、市の掲げた理想社会とは対照的に

**罰する事ばかりが強化されて自転車利用のメリットと釣り合っていない**ということが現状です。

### 自転車についてのアンケート

※ 組・番号・名前は無記入で構いません

Q1. 京都市内在住ですか

はい いいえ

Q2. 市内で自転車に乗っていて不満点がありますか【Q1ではいを選んだ人のみ】

はい いいえ

Q3. 不満点をお書き下さい【Q2ではいを選んだ人のみ】

Q4. 京都市が打ち出している自転車のルールについて何か知っていますか

はい いいえ

Q5. 知っていることについてお書き下さい【Q4ではいを選んだ人のみ】

Q6. いままで自転車に乗っていてメリット、デメリットを感じた場面があればお書き下さい

メリット:

デメリット:

ご協力ありがとうございました。

実施したアンケート

## 解決するために

本来あるべき「自転車共存都市」の姿を目指して

### 自転車 と 京都市

自転車利用のメリットとデメリットが釣り合っていないという現状のままでは、利用者に「正しくあろうとする意欲」は湧きません。

そもそも「自転車共存都市」として本来あるべき姿とは、デメリットを大きくして半ば脅すような形で強制させるものではないのです。



自転車走行推奨帯

その上で問題を解決するためには、何か特有のメリット点を生んで違反しないように意識を促進させるべきと考えます。

その解決策として

# BUシール

を提案します。

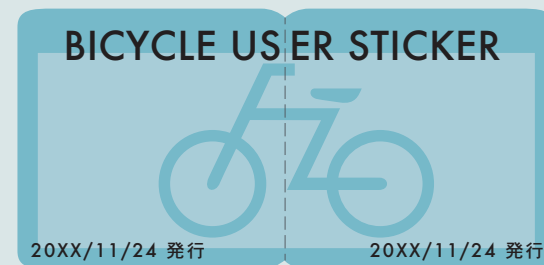
## BUシールとは

シールの提唱と、それから望める未来

BUシール（Bicycle User シール）とは、京都市特有の自転車利用のメリットを生むことで違反防止の意識促進が広がることを目的とする、京都市限定の自転車利用者サービスです。

自転車にシールを貼っていることがサービス加入の証となります。

市が推進してきた自転車施策の一つである「一般の自転車利用者の自転車保険の加入の義務化」と併用し、希望者は保険加入と同時に自転車購入時に添付します。また、盗難や悪用防止のため登録時の個人情報は自転車保険と同時に市が管理します。



BU シール デザイン案

### #1 デザイン

2枚のシールが1枚に繋がっているような形をしています。違反する毎にシールが1枚剥がされます。



シールがミシン目になっているので簡単に切り分けられます。

### #2 システム

初年は シール2枚はバイユーザー  
1枚剥がされるとユニユーザー  
2枚剥がされるとサービスが受けられません。

それ以降は バイの場合はシール継続  
ユニの場合は2枚に張り替える  
シール剥奪の場合はシールを  
取得し直す必要があります。

（シールを張り替えたり  
取り直すためには  
講習費+シール再発行費が  
必要です。）

## これからの京都市

だれもが心地よく行き交うことができるまちへ

#3

### メリット

受けられるサービスの例として、

- ・ドライブスルー、サイクルショップの商品が割引かれる  
(バイなら10%、ユニなら5%)
- ・駐輪場の料金が割引かれる、もしくは無料
- ・京都市営バス、地下鉄に積み込みが出来る
- ・走行、乗り入れ可能な場所の拡大などが挙げられます。
- ・バイなら自転車のメンテナンスが無料

シール毎に個別に設定された認証コードとシールに登録された個人情報と自転車保険との連携により、本人確認を行います。また、アプリやカードなどで更に本人確認の簡易化の向上を目指します。

### 私たちと京都市

昨今、環境意識の高まりやコロナ禍による時代の変化に私たち自身も適応していく必要が生じています。

自転車は環境に優しく、このコロナ禍における「新しい生活スタイル」にも対応する乗り物として公共交通を補完する役割も担っており、まさしく今の時代にうってつけのものと言えます。

そして京都市の歴史的建造物や文化芸術施設に囲まれた、自転車利用の面で非常に恵まれた環境を、「BUシール」で更に繋がりを強固にすることで十分な自転車利用環境の下、私たちは自転車を通じて豊かな生活を送ることが出来ます。

今のこの時代だからこそ

## 「世界トップレベルの自転車共存都市」

を改めて実現へと目指すことが重要であると考えます。